

うっしっしいー情報2014

9月市



豊岡農業改良普及センター

9月10日に行われましたセリ市全体の平均価格は、去勢が73万1千円、雌が64万でした。

普及センター調べ（税込価格）

（本人落としも含むため、JA公表数値とは異なります）

地域	去勢			雌			総計	
	頭数	DG	平均価格	頭数	DG	平均価格	頭数	平均価格
宍粟・佐用	19	1.014	716,040	11	0.881	641,815	30	688,824
篠山	3	0.971	702,000	3	0.930	673,560	6	687,780
丹波	22	0.982	715,451	15	0.864	633,168	37	682,093
朝来	8	0.952	731,430	8	0.837	613,980	16	672,705
播磨	18	0.949	706,800	8	0.831	616,410	26	678,988
美方郡	84	1.011	734,040	54	0.866	647,660	138	700,239
豊岡	14	1.079	742,114	14	0.854	625,243	28	683,679
養父	29	1.040	761,177	14	0.868	655,791	43	726,865
摂津・神戸	1	0.902	675,000	1	0.843	599,400	2	637,200
県北C	1	0.993	731,160	-	-	-	1	731,160
市場全体	199	1.008	731,426	128	0.864	640,069	327	695,665

9月市種雄牛ランキング

順位	種雄牛	去勢			雌			総計	
		頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均価格
1	丸宮土井	25	1.012	766,325	11	0.859	672,055	36	737,520
2	芳悠土井	33	1.026	745,560	19	0.914	688,699	52	724,784
3	芳山土井	39	1.046	737,418	22	0.868	649,031	61	705,541
4	千代藤土井	15	1.005	735,120	10	0.864	653,076	25	702,302
	総計	199	1.008	731,426	128	0.864	640,069	327	695,665
5	照忠土井	11	0.960	727,724	9	0.820	652,440	20	693,846
6	福芳土井	31	1.029	716,075	19	0.924	629,867	50	683,316
7	丸富土井	27	0.954	720,320	26	0.809	598,902	53	660,756
8	菊毬土井	6	0.969	720,180	5	0.844	581,040	11	656,935

価格は税込み (10頭以上の出荷があった種雄牛のみ記載)

ランキング種雄牛の育種価

	種雄牛	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留	脂肪交雑
1	丸宮土井	B	B	A+	A++	A+	A++
2	芳悠土井	A+	A	A+	A	A	A+++
3	芳山土井	A++ → A+	A+++	A+++ → A++	C	A++	A++
4	千代藤土井	B → A	A++	D	A	A+	A+++
5	照忠土井	B	A++	B → A	A+	A++ → A+++	A+
6	福芳土井	A++	B	A++	C	C	A
7	丸富土井	A → B	A++	C → D	C	A	A++
8	菊毬土井	A+ → A	A+ → A	A+	B	A+ → A	B

北部農業技術センター提供 (育種価評価は平成26年07月現在)

「すくすく草育ち」と「すこやか子牛」の標準発育値を比較してみました

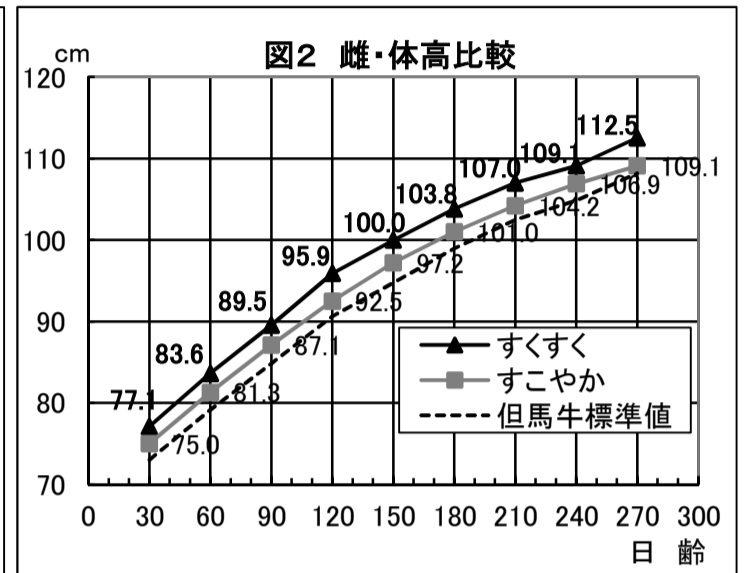
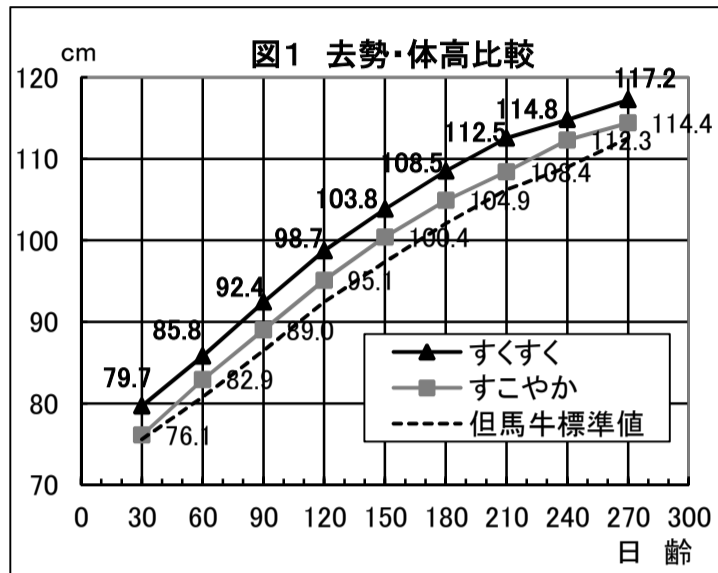
1. はじめに

淡路地域の「すこやか子牛」の取り組みについて、第747号の畜産兵庫（平成26年6月1日発行）で紹介されていました。みなさんもお存じのとおり、但馬家畜市場でも「すくすく草育ち」として同様の取り組みが行われています。今回、畜産兵庫で紹介された内容によると、「すこやか子牛」について新たに子牛の正常発育曲線を作成し、発育改善指導に取り組まれているようです。種雄牛の改良や、みなさんの飼養管理技術の向上により、ここ10年で市場に出荷される子牛の増体は、飛躍的に向上しました。そこで、「すくすく草育ち」の発育目標と、新たに作成された「すこやか子牛」の発育曲線と比較し、あらためて但馬牛の標準発育について考えてみたいと思います。
☆「すくすく」の目標体重は但馬牛標準値（以下 標準値）の上限値で設定されています。ここで扱う「すくすく」の発育曲線は標準値の上限とします。

2. すくすく・すこやか体高比較

「すくすく」の発育目標が全期間を通して、去勢で約3～4cm、雌で2～3cm「すこやか」の目標値を上回っています(図1, 2)。

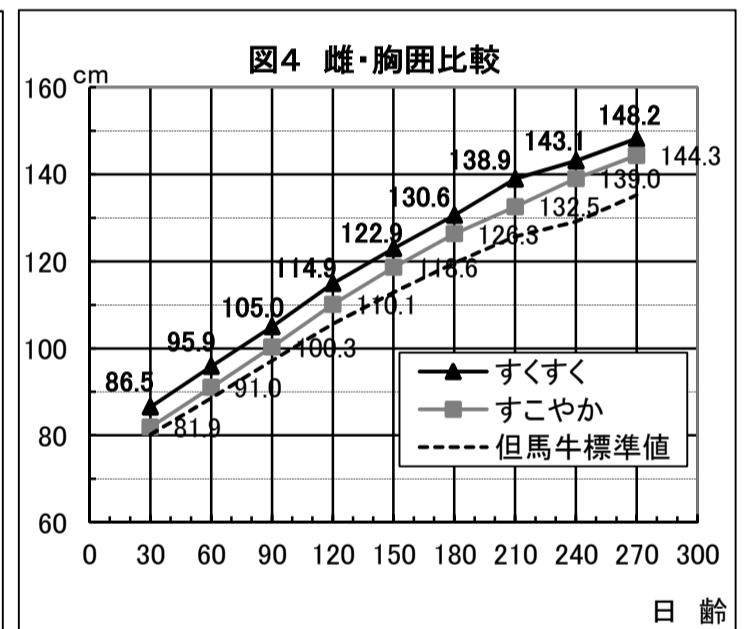
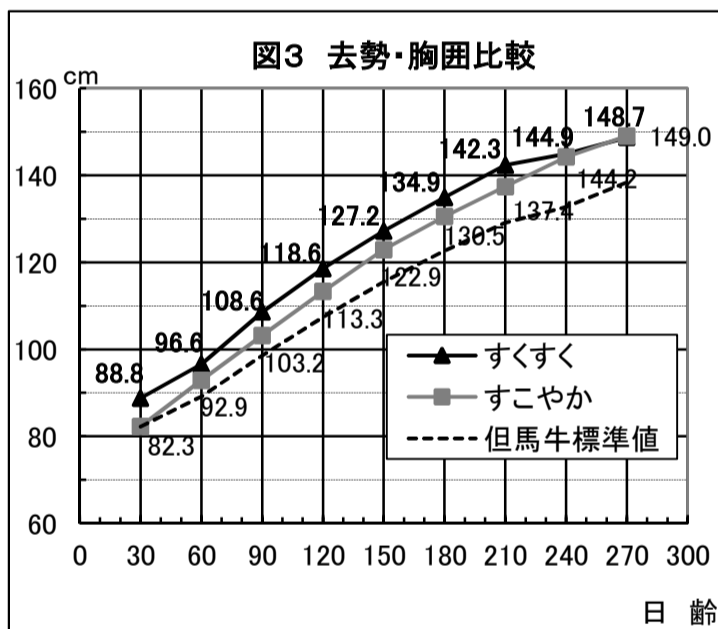
去勢では、「すこやか」の発育曲線は、発育初期において標準値付近にありますが、その後の期間において標準値よりも発育が良好で、「すくすく」と標準値の間まで発育します。雌では全期間を通して「すくすく」と標準値の間を推移しています。



3. すくすく・すこやか胸囲比較

去勢の「すこやか」の発育曲線を比較したところ、3ヶ月齢では標準値付近にありますが、標準値の発育よりも良好で、最終的には「すくすく」を上回る発育が見られます(図3)。雌においても標準値よりも発育は良好で、「すくすく」に近い発育を示しています(図4)。

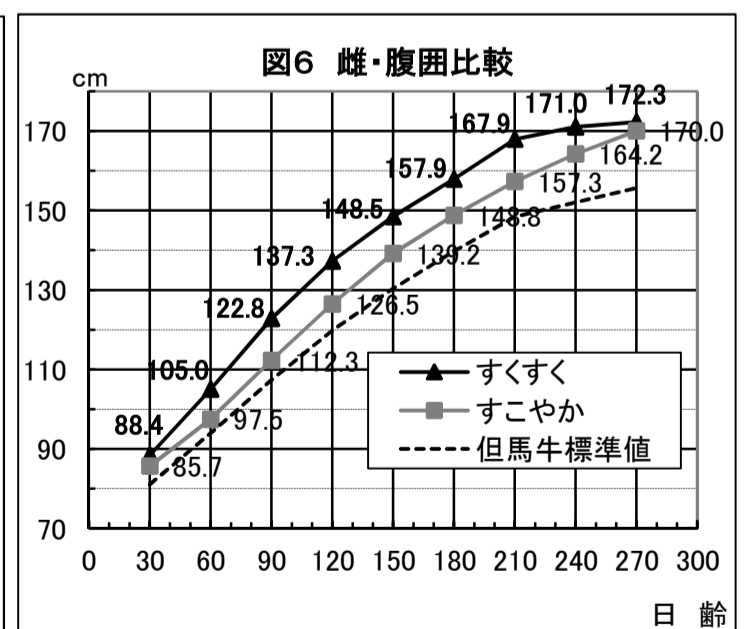
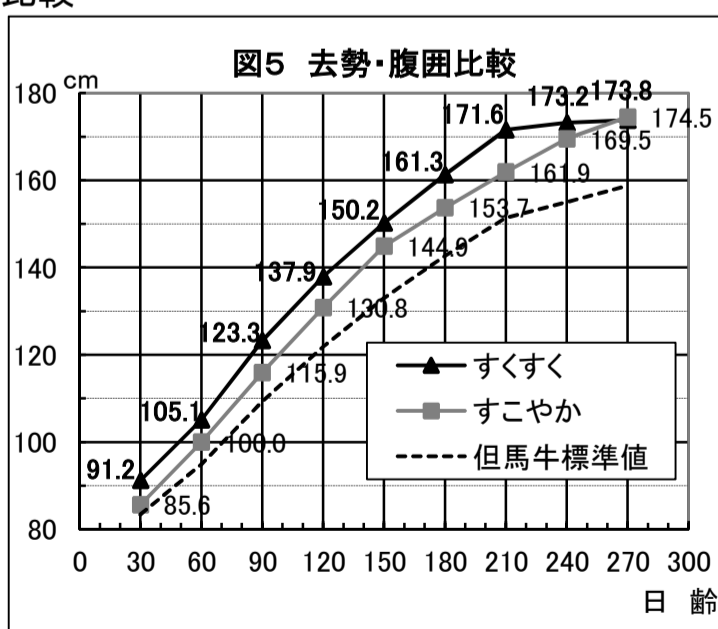
「すこやか」の発育曲線は、標準値と「すくすく」(標準値の上限)を結ぶ曲線となっています。



4. すくすく・すこやか腹囲比較

「すこやか」の発育曲線は、腹囲についても胸囲と同じ傾向を示しています。去勢・雌とも標準値よりも発育が良好で、胸囲と同様、去勢では「すくすく」の値を上回っています(図5, 6)。

発育曲線の特徴として、「すくすく」の発育曲線が、7ヶ月齢以降で急激に発育が鈍化するのに対し、「すこやか」では全期間を通じて発育が確保されています。



5. まとめ

比較したデータは、「すくすく」および標準値が平成12年度のデータ、「すこやか」が平成18～24年度のデータから算出された発育曲線です。「すこやか」の発育曲線は体高・胸囲・腹囲の3部位とも標準値を上回っています。これは、はじめに述べたとおり、家畜改良や飼養管理技術の向上によるものであると思います。また「すこやか」の特徴として、発育初期では多くの部位で標準値近くであった値が発育後期では、標準値上限近く、もしくは超えるまで伸びています。これは以前に比べ子牛の発育速度が上がっている可能性があります。もしそうであれば、発育速度に合わせた子牛の飼養管理が必要になってきているといえます。標準値が算出されてから14年が経過し、家畜改良が進んでいる現状から、新たな但馬牛の発育指標が必要な時期が来ているのかもしれない。